

令和8年度

取り組む事業の
あらまし



津別町のしごと



発刊にあたって

本町の令和8年度予算は、全6会計あわせて110億1,240万円です。前年度と比べ、7.5%の減となりました。

令和8年度につきましては、第6次総合計画をはじめ、個別事業計画を推進するとともに、医療・福祉施策の充実、緊急性と住民要望の高い事業、持続可能なまちづくりに向けた計画的な施策とともに、各事業の必要性や費用対効果などの点検、見直しを行い予算編成をしています。令和8年度予算を構成する主な事業を紹介したものが、この「津別町のしごと」です。

令和8年度予算は、7年目となる「津別町第6次総合計画」や総合戦略、福祉、障がい者等の各種計画を基本に編成したものであります。特に、第6次総合計画につきましては、総合計画推進委員会による検証が行われており、推進委員会よりいただいたご意見やご提言をしっかりと受け止め、10年後に目指す津別町の将来像「暮らしたい、魅力あふれるエコタウン」に到達できるよう着実に取組を推進して参る所存であります。

世界情勢はますます不安定な状況に進んでいると言え、米国をはじめとする大国間の動きが世界経済に影響を与える中、急な解散総選挙によって生まれた日本の政治がどのように対応するのか、日本の経済はどのように反応するのかなど、社会的状況の見通しが立てられない現状にあります。そうした中であっても津別町は、デジタル化による新技術を導入しながら、より町民の皆さんに寄り添うことが不可欠な人的支援の必要な部署への人員配置を進めております。経済的にも政治的にも重ねて起きる大きな波が、社会構造に絶え間ない変化を起こしていますが、その波の先に向けて、本年度も職員と一丸となり、町づくりに取り組んで参ります。

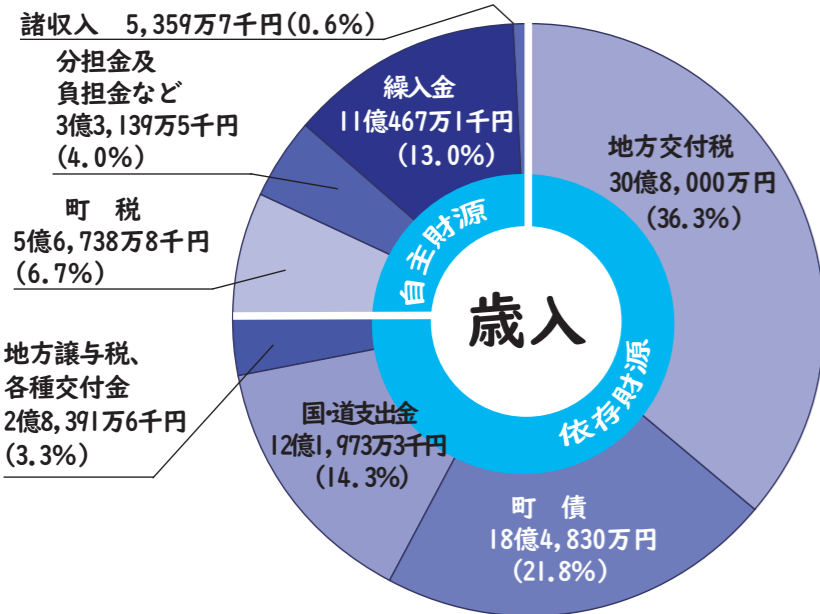
令和8年4月 津別町長 佐藤 多一

もくじ

1	令和8年度津別町一般会計予算	1
2	令和8年度の主な事業	5
	住民企画課	5
	保健福祉課	8
	産業振興課	14
	建設課	17
	生涯学習課	22
3	令和7年度出前講座一覧	25
4	資料	28
	各会計別の当初予算総括表	28
	各種団体等に対する補助金・交付金	29
	各種施設等の維持管理経費	32
	町の貯金と借金	35
	オホーツク管内市町村との比較	37

令和8年度 津別町一般会計予算

総額 84億8,900万円 (前年比8.7%減)



今年度の一般会計予算は84億8,900万円で、前年と比べて、8億800万円の減となりました。主な要因は、国営農地再編整備事業負担金償還、給食センター整備事業の減によるものです。

歳入

自主財源

科目	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減額	増減率	歳入に占める割合
町税	5億6,738万8千円	5億5,091万0千円	1,647万8千円	3.0%	6.7%
分担金及負担金	1,381万2千円	4億3,815万0千円	△4億2,433万8千円	△96.8%	0.2%
使用料及手数料	1億2,193万9千円	1億2,491万1千円	△297万2千円	△2.4%	1.5%
財産収入	6,764万2千円	5,342万1千円	1,422万1千円	26.6%	0.8%
寄附金	1億2,800万1千円	1億500万1千円	2,300万0千円	21.9%	1.5%
繰入金	11億467万1千円	17億5,880万9千円	△6億5,413万8千円	△37.2%	13.0%
繰越金	1千円	1千円	0千円	0.0%	0.0%
諸収入	5,359万7千円	1億485万5千円	△5,125万8千円	△48.9%	0.6%
小計	20億5,705万1千円	31億3,605万8千円	△10億7,900万7千円	△34.4%	24.3%

依存財源

科目	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減額	増減率	歳入に占める割合
地方譲与税	1億1,882万2千円	1億1,907万0千円	△24万8千円	△0.2%	1.4%
利子割交付金	90万0千円	20万0千円	70万0千円	350.0%	0.0%
配当割交付金	170万0千円	150万0千円	20万0千円	13.3%	0.0%
株式等譲渡所得割交付金	110万0千円	110万0千円	0千円	0.0%	0.0%
法人事業税交付金	1,110万0千円	1,180万0千円	△70万0千円	△5.9%	0.1%
地方消費税交付金	1億3,700万0千円	1億1,600万0千円	2,100万0千円	18.1%	1.6%
地方特例交付金	1,270万0千円	70万0千円	1,200万0千円	1714.3%	0.2%
地方交付税	30億8,000万0千円	29億0万0千円	1億8,000万0千円	6.2%	36.3%
交通安全対策特別交付金	59万4千円	60万6千円	△1万2千円	△2.0%	0.0%
国庫支出金	8億4,248万8千円	6億3,213万1千円	2億1,035万7千円	33.3%	9.9%
道支出金	3億7,724万5千円	3億9,583万5千円	△1,859万0千円	△4.7%	4.4%
町債	18億4,830万0千円	19億7,250万0千円	△1億2,420万0千円	△6.3%	21.8%
自動車税環境性能割交付金	0千円	950万0千円	△950万0千円	皆減	0.0%
小計	64億3,194万9千円	61億6,094万2千円	2億7,100万7千円	4.4%	75.7%

合計	84億8,900万0千円	92億9,700万0千円	△8億800万0千円	△8.7%	100.0%
----	--------------	--------------	------------	-------	--------

【用語解説】

自主財源とは

町が自らの責任において、自主的・主体的に収入することができる財源です。

科目	解説
町税	町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、入湯税です。
分担金及負担金	分担金とは、町が一部や特定の人に対して特に利益のある事業を行う場合に、その必要な費用に充てるため、利益を受ける人から徴収するお金のことです。負担金とは、一定の事業について特別の利害関係がある人から、その事業にかかる費用を、受益の程度に応じて徴収するお金のことをいい、分担金と似た性格をもっています。
使用料及手数料	使用料とは、町が所有している施設などを利用するときに、納付されるお金のことです（各施設使用料、町営住宅使用料など）。手数料とは、町が特定の人へ行うサービスの対価として納付されるお金のことです（戸籍手数料、ごみ処理手数料など）。
財産収入	町が所有している財産に対する貸付や売り払いの対価や基金の運用利息等のことです（土地建物貸付料、町有林素材売払代金、各種基金の利子収入など）。
寄附金	町に対する寄附です。ふるさと納税を含みます。
繰入金	基金（貯金）からの取り崩しです。
繰越金	前年度からの繰越金です。
諸収入	学校給食費や各種貸付金収入など、その他の収入です。

依存財源とは

国や道などから定められて額を交付、割り当てられる財源です。

科目	解説
地方譲与税	手続き上国税として徴収される地方税（自動車重量税など）で、国が一定の基準に従って町に配分します。
利子割交付金	金融機関などでの利子にかかる税で、道が徴収し、一定の基準に従って町に配分します。
配当割交付金	一定の上場株式等の配当等にかかる税で、道が徴収し、一定の基準に従って町に配分します。
株式等譲渡所得割交付金	源泉徴収口座の株式等の譲渡所得にかかる税で、道が徴収し、一定の基準に従って町に配分します。
法人事業税交付金	法人事業税の一部を、道が一定の基準に従って町に配分します。
地方消費税交付金	消費税のうち22/78は各都道府県に配分され、その中から一定の基準に従って町に配分されます。
地方特例交付金	国の恒久的減税に伴う町税の減収の一部を補てんするために交付されます。
地方交付税	所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税の中から、国が一定の基準に従って町に交付します。
交通安全対策特別交付金	交通反則金から、国が一定の基準に従って町に交付します。
国庫支出金	町などが行う特定の事務事業に対して、国が交付する、補助金、交付金、委託金です。
道支出金	町などが行う特定の事務事業に対して、道が交付する、補助金、交付金、委託金です。
町債	町が事業をするために借入をする長期の借入金（地方債）です。

歳出

性質別

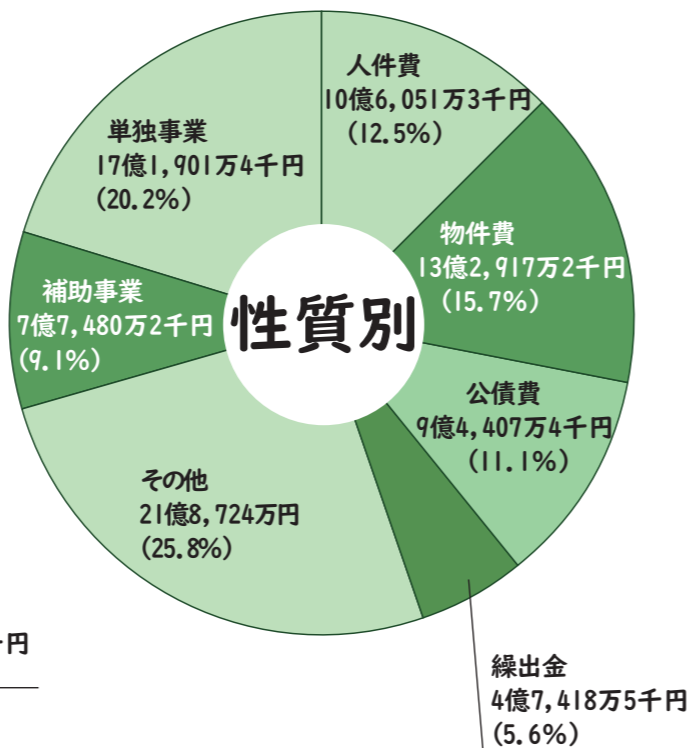
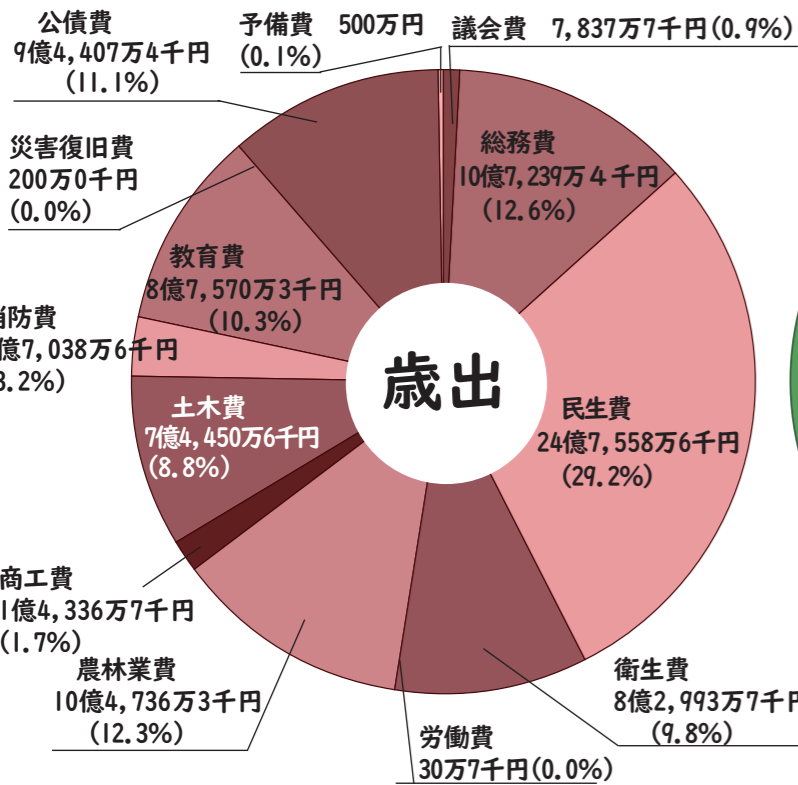
【用語解説】

歳出

科目	解説
議会費	議会の運営や議会報の発行などにかかる経費です。
総務費	財政、税務、公共交通、戸籍、選挙、まちづくりなど行財政全般にかかる経費です。
民生費	社会福祉、児童福祉、高齢者福祉、住民活動、交通安全などにかかる経費です。
衛生費	健康推進、地域医療、ごみ処理などにかかる経費です。
労働費	労働対策にかかる経費です。
農林業費	農業、林業振興などにかかる経費です。
商工費	商工、観光、消費者行政などにかかる経費です。
土木費	道路、河川、町営住宅などにかかる経費です。
消防費	消防、防災対策などにかかる経費です。
教育費	小中学校、給食センター、図書館、社会教育、スポーツ・文化振興、スクールバス、津別高校支援などにかかる経費です。
災害復旧費	災害復旧工事などにかかる経費です。
公債費	借入金（地方債）の償還金です。
予備費	予算外の支出や予算超過の支出に充てるための経費です。

性質別

科目	解説
人件費	特別職と職員の給料や社会保険料のほか、議員や各種委員、会計年度任用職員などに報酬や給料として支払われる経費です。
物件費	謝礼、旅費、交際費、物品の取得代や修理代、郵便料、電話料、業務委託の委託料、ものを借りた場合の賃借料（リース代）や使用料、工事や修繕をするための材料購入費用などです。
公債費	借入金（地方債）の償還金です。
繰出金	特別会計等に支出する経費です。
扶助費	社会保障制度の一環として、生活困窮者、児童、高齢者、障がい者等に対して行う支援に要する経費です。
補助費等	他の地方公共団体や民間団体等に対して、行政上の目的から交付される経費です。
補助事業	町が国や道から補助を受けて行う事業です。
単独事業	町が国や道からの補助が無い、独自の財源で行う事業です。



歳出

科目	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減額	増減率	歳出に占める割合
議会費	7,837万7千円	6,932万9千円	904万8千円	13.1%	0.9%
総務費	10億7,239万4千円	13億7,493万0千円	△3億253万6千円	△22.0%	12.6%
民生費	24億7,558万6千円	12億2,088万1千円	12億5,470万5千円	102.8%	29.2%
衛生費	8億2,993万7千円	9億365万5千円	△7,371万8千円	△8.2%	9.8%
労働費	30万7千円	30万7千円	0千円	0.0%	0.0%
農林業費	10億4,736万3千円	20億2万9千円	△9億5,266万6千円	△47.6%	12.3%
商工費	1億4,336万7千円	1億5,499万1千円	△1,162万4千円	△7.5%	1.7%
土木費	7億4,450万6千円	7億4,107万0千円	343万6千円	0.5%	8.8%
消防費	2億7,038万6千円	3億7,760万5千円	△1億721万9千円	△28.4%	3.2%
教育費	8億7,570万3千円	15億1,001万5千円	△6億3,431万2千円	△42.0%	10.3%
災害復旧費	200万0千円	200万0千円	0千円	0.0%	0.0%
公債費	9億4,407万4千円	9億3,718万8千円	688万6千円	0.7%	11.1%
予備費	500万0千円	500万0千円	0千円	0.0%	0.1%
合計	84億8,900万0千円	92億9,700万0千円	△8億800万0千円	△8.7%	100.0%

性質別

科目	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減額	増減率	歳出に占める割合
人件費	10億6,051万3千円	10億400万0千円	5,651万3千円	5.6%	12.5%
物件費	13億2,917万2千円	10億3,500万0千円	2億9,417万2千円	28.4%	15.7%
公債費	9億4,407万4千円	9億3,700万0千円	707万4千円	0.8%	11.1%
繰出金	4億7,418万5千円	4億9,900万0千円	△2,481万5千円	△5.0%	5.6%
その他	21億8,724万0千円	25億6,800万0千円	△3億8,076万0千円	△14.8%	25.8%
補助事業	7億7,480万2千円	7億9,500万0千円	△2,019万8千円	△2.5%	9.1%
単独事業	17億1,901万4千円	24億5,900万0千円	△7億3,998万6千円	△30.1%	20.2%
合計	84億8,900万0千円	92億9,700万0千円	△8億800万0千円	△8.7%	100.0%

2 令和8年度の主な事業

住民企画課

企画……総合計画・総合戦略の推進、まちなか再生事業、広報・広聴、統計調査などに関すること
住民環境……自治会や町交通安全、ごみ処理やリサイクルの推進に関すること
ふるさと納税……ふるさと納税推進に関すること

新規 **NEW**
広報つべつを外注化
します

429万円

より見やすく、わかりやすい広報紙づくりを進めるため、町の広報紙の作成業務を専門業者へ委託します。

継続
大学生と連携し
まちづくりを進めます

326万6千円

大学生の柔軟な発想をまちづくりに取り入れるとともに、町内の高校生との高大連携事業を通じた若い世代のまちづくりへの参画を促進します。

継続
移住・定住の相談
窓口を運営します

1,207万2千円

※ふるさと納税を活用しています。

移住・定住を希望する人に、暮らしの情報や、住まいの情報、仕事の情報などを提供し、空き家の利活用を推進します。

継続
人づくり・まちづくり
支援事業を行います

226万6千円

※ふるさと納税を活用しています。

町の産業、福祉、スポーツなど各分野において、まちづくりのリーダー育成と団体の自主的なまちづくり活動を支援します。

継続
地域おこし協力隊
事業を実施します

4,247万1千円

「地域おこし協力隊員」による地域協力活動を通じて、地域活性化や地域資源発掘など地域力の維持・強化につながる取り組みを行います。

拡大
地域活性化起業人を
招致します

802万3千円

三大都市圏の企業人材を地域活性化起業人として招致し、民間知識やノウハウを活かした地域活性化に取り組みます。

エゾハブ トウキョウ
EZOHUB TOKYO に津別

町の営業所を開設します

481万2千円

エゾハブ トウキョウ
EZOHUB TOKYO を拠点に、首都圏の企業に対して営業活動を行い、企業版ふるさと納税による財源確保及び企業との交流や誘致、人材交流など関係構築を進め、まちの課題解決を目指します。



継続
津別町の情報や魅力
を配信・PR します

594万0千円

※ふるさと納税を活用しています。

「タウンニュースつべつ」及び「津別町ニュース」を制作し、観光やグルメ、企業紹介など津別町に関する情報を、インターネットを通じて全国に配信します。また、タウンニュースつべつは役場庁舎、さんさん館、津別病院、道の駅、北見信用金庫津別支店、網走信用金庫津別支店、小学校・中学校・高校でも視聴することができます。



新規 **NEW**
地域力創造アドバイザー
を招致します

370万2千円

総務省が登録・管理する地域活性化の専門家「地域力創造アドバイザー」を招き、まちづくりに関する助言や支援を受けます。

新規 **NEW**
町外通学バス定期券
購入費を助成します

275万2千円

町内在住で北海道北見バス(株)の運行するバスを利用して通学する高校生・大学生等を対象に購入費の3分の1を助成します。

新規 **NEW**
二地域居住を促進し
関係人口拡大を図ります

150万8千円

都市部に住む人が津別町にも拠点を持つ「二地域居住」を促し、津別町と継続的に関わる「関係人口」を増やす取り組みです。最終的に移住・定住につなげることを目指しています。

継続
ふるさと納税を通じ
て地域の魅力を発信します

7,784万1千円

津別町に寄附をいただいた方に、町の特産品などを返礼品としてお送りします。ふるさと納税を通じて町と特産品のPRを行い、地域活性化を目指します。

継続
花のまち推進事業を
行います

99万9千円

花のまち推進協議会を主体に、フラワー
マスター連絡協議会など各団体と連携し、
さらなる花のまちづくりを推進します。



継続
ごみの焼却処理を
行います

1,704万1千円

北見市の焼却施設で処理を行います。

継続
リサイクルの推進を
行います

1,654万6千円

リサイクルセンターで、資源物の仕分け
作業を行います。



継続
生ごみの堆肥化処理
を行います

1,109万1千円

津別町、大空町の生ごみを津別町堆肥製
造施設で受け入れ、広域処理を行います。



継続
し尿収集と処理を
行います

4,086万1千円

し尿収集を町内事業者へ委託し、処理を
行います。

継続
最終処分場の管理を
行います

8,044万4千円

一般廃棄物最終処分場で埋め立て処理と
施設管理を行います。



保健福祉課

戸籍・年金……戸籍謄本・印鑑登録証明書、住民票、マイナンバー等の交付や、
年金事務に関すること

健康推進……子どもから成人の健康相談や健診に関すること

国保……国民健康保険、後期高齢者医療の健康保険事務や医療費助成に関すること

福祉……父子及び母子、寡婦、障がい者等の支援に関すること

介護保険……介護保険の認定、給付に関すること

高齢者支援……地域の高齢者への支援活動、介護相談に関すること

継続
医療費助成を行います

○重度心身障がい者医療費助成制度

1,148万6千円

重度の障がい（1・2級と3級の一部）
を持つ方へ医療費の一部を助成します。

※保険診療分対象。課税および所得要件有。

○ひとり親家庭等医療費助成制度

257万7千円

ひとり親家庭（母子・父子家庭）の方へ
医療費の一部を助成します。

※保険診療分対象。課税、所得、年齢要件有。

○子ども医療費助成制度

1,572万9千円

お子さまの医療費を18歳の年度末まで
全額助成します。

※保険診療分対象。入院時の食事療養費は除く。

継続
成人の健康を保持・
増進する事業を行います

16万6千円

○男の健幸 Project

津別町に在住のBMI 25以上の40代、
50代の男性を対象とした運動教室です。
保健師や管理栄養士による健康講話や、ス
ポーツインストラクター指導のもと運動を
行います。

○塩分に関心を持つための普及啓発事業

集団健診会場やイベント会場において、
塩分に関心を持つための普及啓発事業を行
います。

○健康増進月間

9月を健康増進月間とし、役場庁舎や図
書館などで生活習慣病予防を中心に健康に
関する普及啓発活動を行います。

継続
特定健診3年連続受
診者に奨励品を配付します

9万9千円

令和7年度に決定し開始したインセン
ティブ（動機付け）事業です。特定健診を
3年連続で受診された国民健康保険被保
険者の方に奨励品として商品券を配付し
ます。

継続
特定健診を行います

1,000万3千円

○40歳から74歳までの国民健康保険被
保険者を対象にメタボリックシンドロームに
着目した「特定健康診査（特定健診）を行
います。

○30歳以上の国民健康保険被保険者を対象
に特定健診の基本項目に準じた「国保30
（さんまる）健診」を行います。

○北海道後期高齢者医療被保険者を対象に病
気の早期発見・悪化防止、フレイル予防、自
分の体を知ることなどを目的とした「特定健診」
を行います。

継続
簡易脳ドック・心血
管ドック助成を行います

85万円

40歳から74歳までの国民健康保険被
保険者（令和6年度・令和7年度に受診し
た方は除きます）を対象に、脳および心臓
の病気の予防、早期発見のために簡易脳
ドック・心血管ドック助成事業を行います。

継続

妊産婦さんの相談・健診等を行います

163万6千円

妊産婦さん向けの相談・健診・学習会を行います。

○母子手帳の交付

病院で母子手帳をもらうようお話がありましたら、保健師による面談を行い、母子手帳をお渡しします。

○妊産婦健診料助成

一般健診、超音波検査の健診料金を助成します。助成回数は最大で14回、超音波検査が6回、産婦健診が2回です。

○出産応援ギフト

出産関連用品の購入等の負担軽減のため、妊娠時に5万円を支給します。

○産後ケア事業

産後1年の間、医療機関や助産院の助産師による産後ケアサービスを最大9回受け取ることができます。産後の悩みや育児相談、授乳のアドバイスなどを受けることができます。

○プレママ・プレパパ学級

主に妊娠16～34週の妊婦の方とそのパートナーの方を対象に、出産や育児に向けた準備をするための学級を行います。

○相談

妊娠期に関する相談をお受けします（電話・役場での面談・訪問など）。



継続

不妊治療費の助成を行います

58万6千円

不妊治療を受けているご夫婦の経済的負担を軽減するために費用の助成を行います。

●顕微授精、体外受精、男性の不妊手術の費用

・健康保険が適応された方が対象です。
・健康保険、各種医療費減額制度利用後の自己負担額を全額助成します。

●先進医療の費用

・上記の対象の方が、同時に受ける先進医療が対象です。

・この治療費と交通費の一部を助成します。



継続

各種検診を行います

680万9千円

病気の予防・早期発見のために各種検診を行います。

○胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診

40歳以上の方

○前立腺がん検診

50歳以上の男性の方

○乳がん検診

40歳以上の女性の方（2年に1回）

○子宮頸がん検診

20歳以上の女性の方（2年に1回）

○エキノコックス症検診

小学校3年生以上の方（5年に1回）

○肝炎検診

40歳以上の方(今まで受けたことのない方)

○歯周病検診

20・30・40・50・60・70歳の方（後期高齢者の方にも別途実施されます）

拡大

こどもの健診・育児相談等を行います

142万7千円

こどもの健やかな成長のために各種健診・相談・学習会を行います。

○子育て応援ギフト

育児関連用品の購入や、子育て支援サービスの利用負担軽減のため、出産時にお子さま1人につき5万円を支給します。

○新生児聴覚検査費用の助成

出産後、入院中に赤ちゃんに行われる聴覚検査の費用を全額助成します。

○乳幼児健診

- ・乳児（1か月、3～4か月、9～10か月）健診（病院委託）
- ・1歳6か月児健診（集団健診）
- ・3歳児健診（集団健診）

○乳幼児相談会

2か月に1回実施します。生後2か月から就学前のお子さまを対象に栄養・歯・療育の事など育児全般の相談を各専門職に相談ができます。

○育児学級

主に1歳までのお子さまの保護者を対象に、こどもの身体と言葉の育ちや病気の時の対応など、子育てで大切なことについて学級を行います。

○離乳食教室

「これから離乳食を始める」「離乳食で悩みや困りごとがある」などといった保護者を対象に、離乳食の教室を行います。

○5歳児相談

発達の専門職による相談会です。

○相談

育児に関する相談をお受けします（電話・役場での面談・訪問など）。

継続

こどもの歯の健康を守ります

40万円

こどもの歯の健康のために、検診やフッ素塗布・洗口を行います。

○乳幼児健診、相談会での歯科検診・相談

- ・乳幼児相談会にて歯科衛生士による歯科相談を受けられます。
- ・1歳6か月児健診と3歳児健診では、歯科検診・相談とフッ素塗布があります。

○歯科検診・フッ素塗布

1歳～小学校入学前のお子様へ、歯科検診・フッ素塗布の料金の一部助成を行います。

○フッ化物洗口

こども園に入園している年中・年長クラスのお子様で、希望される方対象に、毎日フッ化物洗口を実施しています。

継続

母子手帳アプリで地域の情報を配信します

26万4千円

妊娠から出産、育児をサポートする母子手帳アプリ「母子モ」にて、津別町で利用できる子育てサービスの情報や、月齢にあった各種教室などのご案内を行います。

拡大

妊産婦通院交通費の助成を行います

39万7千円

妊産婦さんにご家族の経済的負担を軽減し、安心して妊娠期を過ごし出産を迎えられるよう、妊産婦健診等に伴う交通費と、出産準備のための宿泊費の一部を助成します。妊産婦健診・出産のための通院に対して、片道につき920円を助成します。宿泊費は1泊につき上限7,600円を最大14泊まで助成します。

継続

各種予防接種を行います

1,259万4千円

感染症予防のため各種予防接種を行います。

○大人

- ・インフルエンザ(65歳以上)
- ・新型コロナウイルス感染症(65歳以上)
- ・高齢者の肺炎球菌感染症(65歳)
- ・带状疱疹(65歳から100歳まで5歳刻み)
- ・RSウイルス(妊婦)

○子ども

- ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・BCG
- ・2種混合 ・4種混合 ・5種混合
- ・おたふく ・麻疹風疹混合
- ・ロタウイルス ・子宮頸がん等予防
- ・日本脳炎 ・B型肝炎
- ・インフルエンザ(6か月～中学3年生)
- ・水痘(1歳から就学前)

継続

地域医療維持の助成を行います

2億4,000万円

住民の健康を守る地域医療を維持確保するため、救急医療を含め津別病院に助成を行います。



継続

認知症高齢者を支援する事業を行います

529万2千円

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために、医療、介護等の関係機関が連携しながら支援する事業を行います(委託事業を含む)。

例) 認知症高齢者の安否確認訪問、認知症初期集中支援チームによる訪問、認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の実施、チームオレンジの活動支援、認知症の人にやさしいお店登録事業の実施、認知症カフェの開催、認知症の人の家族の茶話会や出前講座、徘徊高齢者検索模擬訓練、SOSネットワーク事業など



継続

バス無料乗車券を交付します 379万4千円

バス無料乗車券の交付対象者は、次のとおりです。

○対象者

- ①70歳以上の方
 - ②3級以上の身体障がい者手帳をお持ちの方(寝たきり等でバスの乗車が不可能な方は除きます)。
 - ③療育手帳をお持ちの方
 - ④精神保健福祉手帳をお持ちの方
- ⑤②・③・④のうちひとりでバスに乗車できない方の介護者(②は第1種の方、③は18歳未満の方またはA判定の方、④は1級の方)

新規

高齢者世帯への家庭用エアコン等購入費助成事業を行います

100万円

夏の熱中症予防が必要とされる高齢者世帯に対し、家庭用エアコン等の購入及び設置に要する費用を助成します。

○対象者

町内に居住し、かつ、町の住民基本台帳に記録されている者で、以下のすべての要件を満たす世帯

(1) 65歳以上の高齢者のみで構成されている世帯。ただし、64歳以下で障害者手帳を所持した者(身体障害者手帳1～2級、療育手帳A判定、精神障害者保健福祉手帳1級の者に限る。)が加わった世帯も対象とする。

(2) 世帯員全員が町民税非課税である世帯

(3) 世帯員全員が町税等の滞納がない世帯

○助成対象機器

町内の事業所から購入した以下の機器に限る。ただし、中古品は除く。

- (1) エアコン
- (2) 冷風機
- (3) 冷風扇
- (4) その他町長が認める室温冷却機能を有する機器

○助成額

1世帯につき1台1回限りとする。
(1)は、購入及び設置費用の1/2(上限5万円)。
(2)、(3)、(4)は、購入金額または5万円のいずれか小さい金額

継続

高齢者の権利を守る事業を行います 296万8千円

高齢者の尊厳を守り地域で安心して生活できるように、専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のため必要な支援活動を行います。

例) 成年後見制度の普及啓発や利用に関する支援、消費者被害防止、高齢者虐待防止に関する活動など

新規

高齢者福祉施設設備整備費用を助成します

11億7,130万円

安定的な介護サービスの提供基盤を整備するため、社会福祉法人恵和福祉会が計画する、老朽化した特別養護老人ホームいちいの園等の移転新築に対し、建築費の助成を行います。



継続

児童手当を支給します 5,180万5千円

- ・3歳未満(第1子・第2子)
…月額1万5千円
- ・3歳以上高校終了前(第1子・第2子)
…月額1万円
- ・0歳以上高校終了前(第3子以降)
…月額3万円

継続

障害者総合支援事業を行います 3億1,391万5千円

障がい者の社会参加の機会の確保および地域社会における共生の実現に向けて、障害福祉サービスの充実等障がい者の日常生活および社会生活を総合的に支援します。

高齢者の介護予防 事業を行います

継続

859万8千円

高齢者の運動機能の向上や認知症予防、閉じこもり予防を目的に、年齢ごとの家庭訪問や介護予防教室の開催、地域活動を支援します（委託事業を含む）。

例）いきいき百歳体操、ふれあい・いきいきサロン、生活支援サポートセンター事業、介護予防いきいきボランティアポイント事業、高齢者の状況把握訪問、高齢者向け運動教室、ミズナラ倶楽部（通所型介護予防教室）脳活サロンなど



こども家庭センター で相談支援を行います

継続

739万円

町内に住むすべてのこどもやそのご家族、妊産婦を対象に、日頃の相談支援を行う窓口を設置します。

○主な事業内容

- ・こどもやそのご家族、妊産婦に対する相談支援
- ・支援の必要な妊産婦や子育て家庭への支援
- ・関係機関との連携強化
- ・母子保健に関する健診などの業務（「こどもの健診・育児相談等を行います」に再掲）

子ども・子育て支援 事業を実施します

拡大

1億4,190万6千円

※ふるさと納税を活用しています。

- こども園の利用者負担の軽減、給食を無料で行います。
- 認定こども園「こどもの杜」へ運営費補助を行います。
- 一時預かり、延長保育、体調不良型保育、子育て支援センター事業をこども園に委託します。
- 認定こども園「こどもの杜」が実施するこども誰でも通園制度の実施に係る経費を負担します。

ひきこもり支援推進 事業を実施します

継続

651万3千円

ひきこもり状態にある方やそのご家族などに対し、相談支援や情報発信、居場所づくりなどを行います。本事業は、津別町社会福祉協議会に委託します。

バス無料乗車IC カードを交付します

新規

654万9千円

10月から利用できる北見バスの美幌・津別線及び開成・津別線の乗車が無料になるICカードを交付します。ICカードの交付対象者は、次のとおりです。

○対象者

- ①町内在住の70歳以上の高齢者
- ②1～3級の身体障害者手帳をお持ちの方
- ③療育手帳をお持ちの方
- ④精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
- ⑤②・③・④のうち、ひとりバスに乗りできない方の介護人

産業振興課

- 林政……林業の振興や町有林の保護・管理に関すること
- 商工観光……商工業や観光の振興、森の健康館等に関すること
- 農政……農業や畜産の振興に関すること
- 耕地……農業農村整備、土地改良に関すること
- 再エネ推進…再生可能エネルギーの導入推進に関すること
- 農業委員会事務局…農地の権利移動の許可に関すること

道営土地改良事業を 行います

継続

8,620万円

農地の区画整理整備及び営農用水整備を実施することによって生産基盤の強化を行い、地域農業の生産効率・安全性の向上を目指し事業を推進します。

多面的機能支払 交付金事業を行います

継続

6,251万円

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域で行う農地・水路・鹿柵・農道等の資源や環境の保全管理活動に対して支援を行います。

農業水路等長寿命化・ 防災減災事業を行います

継続

120万円

農業水路等を改修し、施設の長寿命化を図ります。

有害鳥獣駆除を実施 します

拡大

761万円

猟友会津別支部やJAつべつと協力し、農作物の食害等を防止するため、エゾシカ、ハト・カラスの駆除を実施します。

スマート農業の通信 環境の整備を支援します

新規

565万9千円

携帯電話の通信不感地帯となっている農地においてもスマート農業が活用できるよう通信環境の整備を支援します。

畜産振興対策事業を 行います

新規

584万1千円

堆肥製造施設の電気設備（高圧ケーブルや受電設備の部品等）について、老朽化による更新を行います。

森林環境譲与税活用 事業を行います

継続

5,324万7千円

国より交付される森林環境譲与税を活用し、新規に林業に従事される方や、林業の担い手確保に関する取り組みへの支援、林業の労働環境の改善に向けた安全装備品や、林業機械購入に対する助成、町内私有林の森林整備に対する支援を行います。

継続
愛林のまち緑資源を
守る推進事業を行います
623万1千円

※ふるさと納税を活用しています。

民有林振興対策として、造林事業や保育事業に丸玉木材森づくり基金を充当し事業を推進します。

継続
森林管理認証の取得
を支援します
15万円

町内の認証林から産出される認証材の利用拡大を図っていくために、生産・加工・流通工程の管理認証を取得または更新する事業者に対して助成を行います。

継続
町有林整備事業を
行います
8,941万5千円

施業計画に基づき、造林事業、保育事業、間伐事業など町有林の森林整備を行います。

継続
U I J ターン新規
就業支援事業を実施します
100万円

東京圏から町内へ移住し、北海道が運営するマッチングサイトに登録されている企業に就業、または北海道が実施する起業支援事業により起業された方を支援します。

継続
起業等振興促進事業
を実施します
4,410万1千円

町内において新たに事業活動を行う方や現在事業を行っている方の施設・設備投資、増改修等を支援します。

継続
地域特産品販路拡
大支援事業を実施します
121万5千円

町外への販路拡大のために見本市等に出展する町内企業を1企業あたり3回まで支援します。

継続
観光PR事業を
実施します
217万円

道内外の観光フェア等への出展等の他、旅行会社等へのプロモーション活動をNPO法人津別観光協会へ広告宣伝業務を委託し、津別町の魅力を発信していきます。

継続
温泉無料送迎バスを
運行します
173万6千円

「ランプの宿 森つべつ」行きの無料送迎バスを運行します（津別市街地、活汲方面、相生・本岐方面）。

継続
森の健康館の入浴料
を助成します
525万8千円

- 町民入浴優待券の利用で入浴料の一部を助成します（1人5枚つづり）。
 - ▶大人1回券…入浴料800円のところ400円助成→400円で入浴可能
 - ▶子ども1回券…入浴料400円のところ250円助成→150円で入浴可能
- 町民入浴優待回数券の購入料金の一部を助成します（1組13枚つづり）。
 - ▶大人回数券…8,000円のところ4,000円助成→4,000円で購入可能
 - ▶子ども回数券…4,000円のところ2,500円助成→1,500円で購入可能

継続
小規模事業者若者
雇用促進事業を実施します
194万円

町内において若年者の正規雇用に積極的に取り組む小規模事業者を支援します。

継続
津別峠展望施設LED
化改修工事を実施します
148万円

昨年度から3か年計画で実施しているLED化改修工事（2か年目）を実施します。

継続
森の健康館の機器等
の更新・設置工事等を実施
します
1,735万8千円

木柱更新工事及びエレベーター改修工事など老朽化した設備の更新・設置工事等を行います。

新規
21世紀の森キャン
プ場の看板設置工事を実施
します
262万3千円

北海道大学学生団体「HALCC」と津別高校生による高大連携事業にてデザインされた看板を21世紀の森キャンプ場に設置します。

継続
エコツーリズム
推進事業を実施します
572万3千円

※ふるさと納税を活用しています。

エコツーリズム全体構想の認定を目指すとともに、持続可能な観光地域づくりに取り組みます。

継続
消費生活相談業務を
実施します
61万9千円

悪質商法や商品・サービスなどの契約に関するトラブル、商品の品質や安全性など消費生活に関するさまざまなご相談に応じます。

新規
多目的活動センター
の屋根防水工事を実施します
188万1千円

多目的活動センターの長寿命化のため、屋根防水工事を行います。

新規
自然運動公園内の道
路側溝改修工事を実施します
513万7千円

老朽化等で破損している自然運動公園内の道路側溝改修工事を実施します。

拡大
木質バイオマスエネ
ルギーセンター実施設計・
建設工事
2億20万円

特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターの移転新築計画に伴い、移転先の周辺施設を含む複数施設へ、木質バイオマスボイラーによる熱供給を実施する施設の実施設計・建設工事を行います。

拡大
木質バイオマスセン
ター貯蔵棟等建設工事
2億2,836万円

木質バイオマスセンターの機能を拡大し、特養等の新築移転に伴う地域熱供給計画に対応するとともに、農畜産用チップの増産を図ることで地域未利用材の活用を促進します。

建設課

住宅……公営住宅の管理、定住促進、空家対策に関すること
水道……水道、下水道の工事・管理、料金に関すること
道路河川……町道、河川の工事・管理や町道の除排雪、まちバスの運行や町有車両の管理に関すること

空家活用促進事業を行います

100万円

空家の活用を促進するため、貸主または借主の住宅改修に費用の一部を補助します。

まちなか団地等の外壁木部塗装を行います

3,274万7千円

まちなか団地、旭町団地、緑町第2団地、たつみ第3団地の外壁木部を塗装します。

豊永団地の内部を一部改修します

3,131万7千円

豊永団地の空室となっている住宅3棟の内部を一部改修します。

町内に定住する方に助成します

2,150万円

持ち家を新築する方、中古住宅を購入される方、住宅を改修される方に費用の一部を助成します（ふるさと定住促進事業）。

空家等撤去促進事業を行います

750万円

良好な生活環境と美しい景観を創出することを目的に、空家や廃屋を自主的に撤去する方に費用の一部を助成します。

本岐第2団地を解体します

3,549万7千円

町営住宅の本岐第2団地2棟8戸を解体します。

水道老朽管の更新を行います

1億1,934万1千円

水道老朽管更新計画に基づき、耐用年数を超えた水道管を更新します。（更新箇所は20ページに掲載）

個別排水処理浄化槽を設置します

1,433万2千円

公共下水道の区域外の地域で、水洗トイレなどが使用できる個別排水浄化槽（合併浄化槽）を、3基設置します。

下水道施設の改築・更新を行います

1億2,490万円

ストックマネジメント計画に基づき、下水道管理センターの機械・電気設備更新工事を行います。

水道施設の中央監視装置を更新するための実施設計を行います

477万4千円

水道の各施設を遠隔で監視するための中央監視装置が老朽化したため、更新するための実施設計を行います。

未給水地区の飲み水の安全確保を図ります

375万8千円

水道未給水地区の飲み水の安全性や量の確保を図るため、水質検査費用、井戸の堀削、浄水器の購入設置費用などに対して助成を行います。



除雪ダンプの更新を行います

7,795万2千円

道路の維持や除雪のため、建設機械の更新を行います。

大型免許等運転免許取得費の一部を助成します

60万円

津別の事業所で働く方が大型免許等を取得する際の費用の一部を事業所に助成します。

継続
**タクシー利用助成券
 交付事業を実施します**
333万円

75歳以上の町民の方で、一定条件を満たした方にタクシー利用助成券を交付します。

継続
**スクールバスを
 運行します**
3,909万9千円

小・中学校の生徒、認定こども園の園児の通学・通園のため、混乗スクールバスを運行します。



継続
**花バス市街地巡回
 線を運行します**
277万5千円

買い物や通院など皆さんの日常生活に必要な交通手段として、花バス市街地巡回線を運行します。



継続
**道路の改良工事を
 行います**
1億3,173万6千円

下記の舗装化されていない道路を改良して舗装化します。(場所は20ページに掲載)

○町道2号線 延長=532m(歩道新設)

継続
**歩道の補修工事を
 行います**
1,756万7千円

歩道の補修工事を計画的に進めていきます。今年度は2路線の補修を行います。

延長=260m(場所は20ページに掲載)

継続
橋の補修を行います
3,507万9千円

橋梁の長寿命化を図るため、橋の補修工事を計画的に進めています。今年度は美開橋・清流橋の補修を行います。(場所は21ページに掲載)

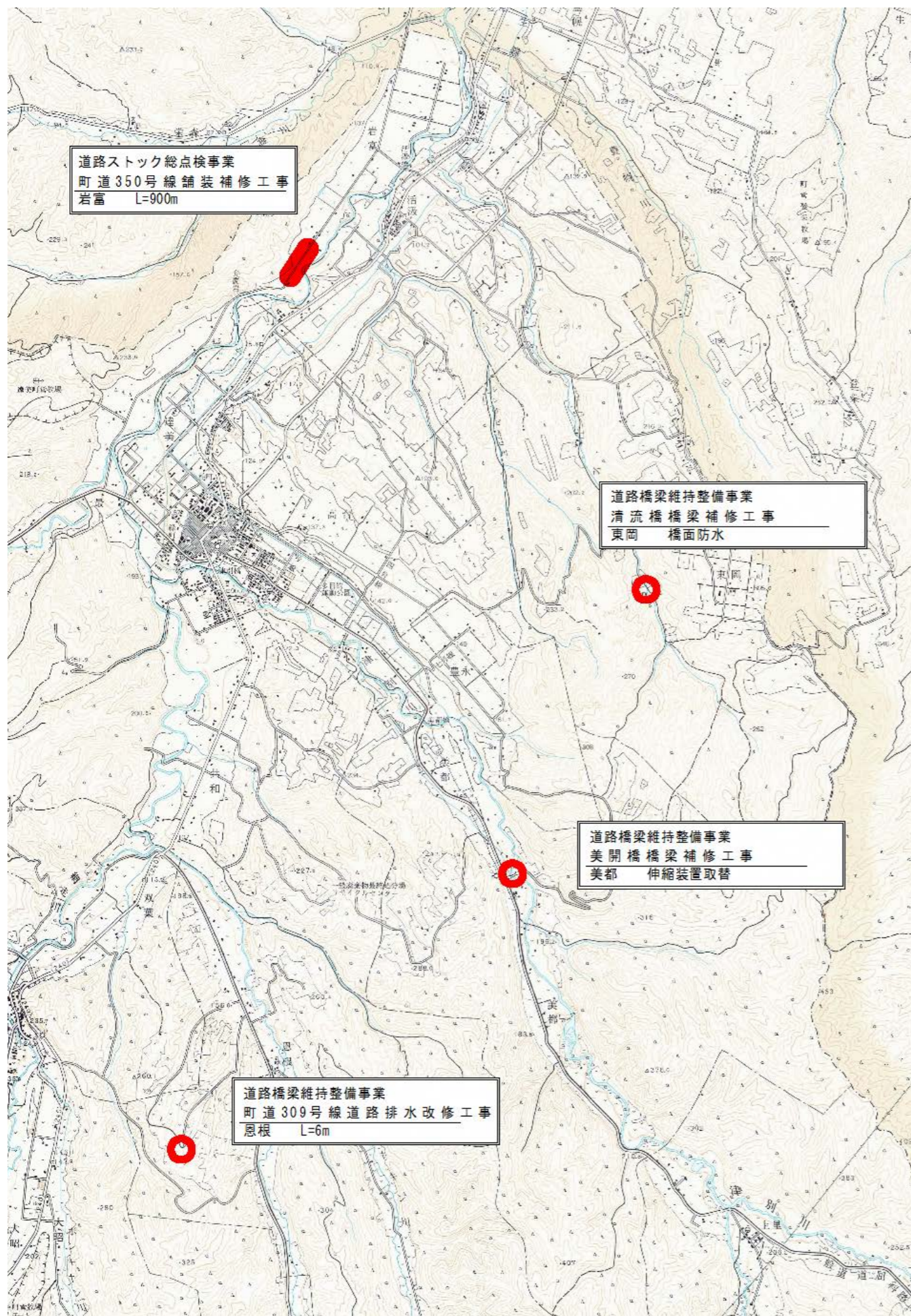
継続
**道路の補修工事を
 行います**
1億451万1千円

下記道路の舗装工事や補修工を行います。(場所は21ページに掲載)

○町道309号線道路排水溝改修工事
 延長=6m

○町道350号線舗装補修工事
 延長=900m





生涯学習課

学校教育……学校の管理や児童・生徒の就学に関すること
 学校給食……給食センターの管理、運営に関すること
 社会教育……生涯学習や児童館・中央公民館の管理、運営に関すること。
 スポーツ合宿や体育施設の管理、運営に関すること
 図書館係……図書館の管理運営に関すること。

拡大

津別高校の存続を
支援します

4,892万3千円

津別高校を地域に存続させるため、国公立大学入学一時金、バス通学費、校納金、教科書代、制服費の補助や生徒の海外研修派遣事業や公設塾開設などを振興対策として継続実施しています。

今年は、バス通学費の補助率をバス定期代の値上げがあったことから3/4から4/5に拡大していきます。

継続

小学校への学習補助
員配置を継続します

1,395万9千円

小学校において、児童一人ひとりの学習状況、学校生活に応じたきめ細かな支援を充実させることと、教員の指導補助や業務負担軽減を通じ、教育の質の向上を推進するために学習補助員8名を配置します。

継続

二水郷中学生交流
事業（訪問年）を行います

300万円

今年は、津別中学校の生徒が台湾二水郷の二水国民中学校に訪問する年となります。

国際交流を通じて異文化に触れ、国際的な感覚と視野を身につけることにより、人間性豊かな人材の育成を目指します。

継続

中学校への臨時教職
員および学習補助員配置を
継続します

1,403万2千円

中学校において、生徒一人ひとりの学習状況や特性に応じたきめ細かな支援と、教員の指導補助や学習環境の充実を通じ、教育の質の向上を推進するために臨時教職員1名、学習補助員3名を配置します。

継続

「愛林のまち」
ならではの木育授業を
実施します

127万3千円

小学3年生・5年生、中学1年生を対象に、木や森林と触れ合いながら学ぶ機会をつくり、自然環境への理解や郷土への愛着を育みます。

新規

小学校バリアフリー
化改修工事を行います

8,906万8千円

小学校にエレベーターと身障者用玄関・スロープを設置し、怪我や障がいのある児童生徒や教職員、来校者が安全に利用できる校舎を整備します。

新規
小・中学校グラウンドに土を補充し整備します
278万3千円

長年使用してきた中で、凸凹や土不足が生じている小・中学校グラウンドに土を補充し、適切な整備を行うことで、安全な教育環境を確保します。

拡大
小・中学校に教育相談員を配置します
612万6千円

小・中学校に各1名ずつ配置し、児童生徒や保護者が抱える悩みや不安に対して専門的かつ継続的な相談支援を行うことで、安心して学べる教育環境を整備します。

継続
船橋市・南アルプス市青少年交流事業を行います
380万円

今年度は、船橋市と南アルプス市へ訪問します。

両市の子どもたちとの交流を通じて、価値観を広げ、友情や絆を深めるなど心豊かな人間形成を築きます。

継続
放課後児童クラブ事業を行います
6万3千円

保護者が就労等により、昼間家庭にいない小学生を対象に、遊びや生活の場を提供し、活動を通して健全育成を図ります。

継続
青少年芸術鑑賞事業(小中学生対象・幼児一般)を行います
99万円

小中学校や児童館での芸術鑑賞を行い、児童生徒の豊かな想像力や思考力、芸術性を養います。

継続
放課後子ども教室事業を行います
320万9千円

すべての子どもを対象に、安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の協力を得て学習、スポーツ、文化活動、交流の機会を提供し、健全育成を図ります。

継続
青年活動プロジェクト and 事業を支援します
25万円

町内在住・勤務する青年による活動を支援します。業種にとらわれず、新しい仲間と出会い、教養を深め、交流の横のつながりを築きながらさまざまな活動を行います。

継続
日本フィルセミナー事業を行います
350万円

全国から集まったアマチュア奏者に対し、日本フィルハーモニー交響楽団の団員がセミナーを実施します。最終日には、アマ・プロ全員でコンサートを行い、生のクラシック音楽を提供します。

継続
リコーダーセミナー・コンサート事業を行います
30万円

全国から集まったリコーダー愛好家や近隣の小中学校の学生に対し、セミナーを実施します。最終日にはコンサートを行います。

継続
つべつ紅葉マラソン大会を行います
100万円

マラソンを通じて参加者同士の友好的な絆を深め、健康増進と体力向上を図ります。ローカルでアットホームな大会で津別町を盛り上げます。

継続
アソビバ! つべつ事業(自然体験・郷土学習等)を行います
80万4千円

町内の小中学生を対象に、津別町の豊富なフィールドを活用した体験学習を通して、郷土愛の育成を図り、子どもたちの自主性や協調性を育むさまざまな事業を行います。

継続
オリンピック事業を行います
88万円

スポーツの楽しさと魅力を伝え、年齢や体力にとらわれず誰もが目的に応じてスポーツに親しむ機会として、アスリートによる各種スポーツ体験教室と講演会を実施します。

新規
芝管理作業機を購入します
836万円

芝生管理用作業機器を購入します。

継続
津別オリジナルの給食を提供します
88万6千円

オール津別給食 39万6千円
オーガニック牛乳 49万円

学校給食において、津別産食材のみを用いたオール津別給食を年3回提供します。また、毎週水曜日は、小中学校にオーガニック牛乳を提供します。
※津別高校へは牛乳が提供されていません。

継続
健康づくり教室事業を行います
30万円

町民が健康で生き生きとした生活が営めるよう、運動教室を実施します。体力・健康づくり、運動の習慣化を図るため、定期的に開催してさまざまなトレーニングを展開します。

新規
旧給食センターの解体を行います
8,046万5千円

旧津別町学校給食センターの解体工事を行います。令和8年7月頃より実施を予定しています。

新規
小中学校児童生徒及び津別高校生の学校給食費を無償化します
1,478万7千円

保護者の経済的負担の軽減のために、学校給食費を無償化します。

新規
図書館講座を行います
10万7千円

AIをテーマに講座を行います。著書を持つ講師のお話を通して、新しい知識や視点にふれ、学びを広げる機会とします。



3 令和7年度出前講座一覧

住民企画課住民環境係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場
令和7年 4月23日	交通安全教室	歩行時、自転車利用時における交通安全指導	津別小学校児童	津別小学校

保健福祉課健康推進係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場	参加人数
令和7年 5月21日	健康講話	後期高齢者健診受診勧奨	高台町100歳体操	高栄団地集会所	5人
令和7年 6月9日	健康講話	高齢者の健康、带状疱疹ワクチン	高台町 ほのぼのサロン	高栄団地集会所	5人
令和7年 7月1日	健康講話	高齢者の健康、血圧、熱中症予防、 带状疱疹ワクチン	活汲老人クラブ	活汲寿の家	36人
令和7年 7月8日	ゲートキーパー 研修	生徒からのSOSに対する対応	津別中学校教諭	津別中学校	12人
令和7年 7月22日	健康講話	命の大切さを考える授業 (SOSの出し方に関する教育)	津別中学校 全校生徒	津別中学校	83人
令和7年 8月21日	健康講話	後期高齢者健診受診勧奨	共和第2 にこにこサロン	共和 生きがいセンター	15人
令和7年 8月25日	健康講話	後期高齢者健診受診勧奨	東達美 いきいきサロン	達美地区 農業研修センター	9人
令和7年 9月8日	健康講話	後期高齢者健診受診勧奨、 インフル・新型コロナワクチン	本岐地区 いきいきサロン	本岐地域 農業研修センター	8人
令和7年 9月8日	健康講話	後期高齢者健診受診勧奨、 インフル・新型コロナワクチン	共和はつらつ 健康サロン	共和 生きがいセンター	8人
令和7年 9月9日	健康講話	後期高齢者健診受診勧奨、 インフル・新型コロナワクチン	東町100歳体操	友楽園寿の家	10人
令和7年 9月11日	健康講話	後期高齢者健診受診勧奨、 インフル・新型コロナワクチン	相生 あいあいさろん	相生公民館	8人
令和7年 9月12日	健康講話	後期高齢者健診受診勧奨、 インフル・新型コロナワクチン	豊永第3 こいこいサロン	豊永寿の家	11人
令和7年 9月16日	健康講話	後期高齢者健診受診勧奨、 インフル・新型コロナワクチン	西町さわやか 健康サロン	西町寿の家	5人
令和7年 9月22日	健康講話	後期高齢者健診受診勧奨、 インフル・新型コロナワクチン	旭町100歳体操	旭昇園寿の家	4人
令和7年 9月23日	健康講話	後期高齢者健診受診勧奨、 インフル・新型コロナワクチン	活汲100歳体操	活汲寿の家	15人
令和7年 9月25日	健康講話	食事の大切さ	津別高校1年生	津別高校	14人

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場	参加人数
令和7年 10月1日	健康講話	後期高齢者健診受診勧奨、 インフル・新型コロナワクチン	旭町第3 おさんぽ・ぽっと	旭昇園寿の家	16人
令和7年 10月1日	健康講話	骨・筋力、インフル・新型コロナ ワクチン	活汲老人クラブ	活汲寿の家	29人
令和7年 10月2日	健康講話	後期高齢者健診受診勧奨、 インフル・新型コロナワクチン	豊永第4 げんきサロン	中央公民館	25人
令和7年 10月17日	健康講話	災害時の食事	津別高校 全校生徒	津別高校	53人
令和7年 10月21日	健康講話	食事で高血圧予防	豊永第4 自治会女性部	中央公民館	5人
令和7年 11月2日	健康講話	高齢者の健康・血圧について、 带状疱疹・インフルエンザ・新 型コロナワクチンについて	本町自治会	津別商工会館	22人
令和7年 12月10日	健康講話	フレイル予防	高台町 ほのぼのサロン	高栄団地集会所	5人
令和8年 2月25日	健康講話	フレイル予防	認知症介護者の 茶話会	役場健診ホール	7人
令和8年 3月6日	健康講話	フレイル予防	寿大学	中央公民館	40人

保健福祉課高齢者相談係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場	参加人数
令和7年 8月25日	健康講話	血圧のしくみや値の見方、自 己管理の仕方	東達美サロン	達美地区 農業研修施設	13人
令和7年 9月3日	健康講話	認知症に関する基礎的な説明 とセルフチェック、脳トレ	新栄老人クラブ	共和 生きがいセンター	14人
令和7年 9月25日	出前講座講話	血圧のしくみや値の見方、自 己管理の仕方	ケアハウスつべつ 入居者	ケアハウスつべつ	23人
令和7年 10月25日	認知症サポ ーター養成講座	認知症に関する基本的な疾患 の知識、関わり方、予防策に ついて、徘徊模擬訓練	全自治会対象	町民会館	10人
令和7年 10月31日	健康講話	高齢に伴う事故の場所や原 因。事故を防ぐポイントなど	幸町自治会女性部	町民会館	13人

産業振興課商工観光係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場	参加人数
令和8年 1月30日	消費生活講話	「働くときの基礎知識 ～社会に出る君たちへ～」	津別高校 3年生	津別高校	18人

産業振興課再エネ推進係

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場	参加人数
令和7年 6月24日	中学1年 総合学習	総合的な学習の時間 「津別町地域資源の再認識」 の学習を深める	津別中学校 1年生	木質バイオマスセ ンター、西町団地、 木質ペレット製造 施設	39人

津別消防

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場	参加人数
令和7年 6月4日	救急教室	観察法、AED取扱方法、異物 除去法、119番通報	認定こども園 こどもの杜 職員	子育て支援センター	21人
令和7年 7月18日	救急教室	観察法、心肺蘇生法、止血法、 包帯法	津別中学校 2年生	津別中学校	16人
令和7年 10月17日	救急教室	AED取扱方法、心肺蘇生法、 止血法、包帯法、固定法、搬 送法	津別高校 2年生	津別高校	18人
令和7年 11月20日	救急教室	止血法、搬送法	津別観光協会	さんさん館	6人
令和7年 11月27日	救急教室	観察法、心肺蘇生法、止血法、 異物除去法、火傷・痙攣に対 する応急手当	津別町児童館 職員	児童館	9人

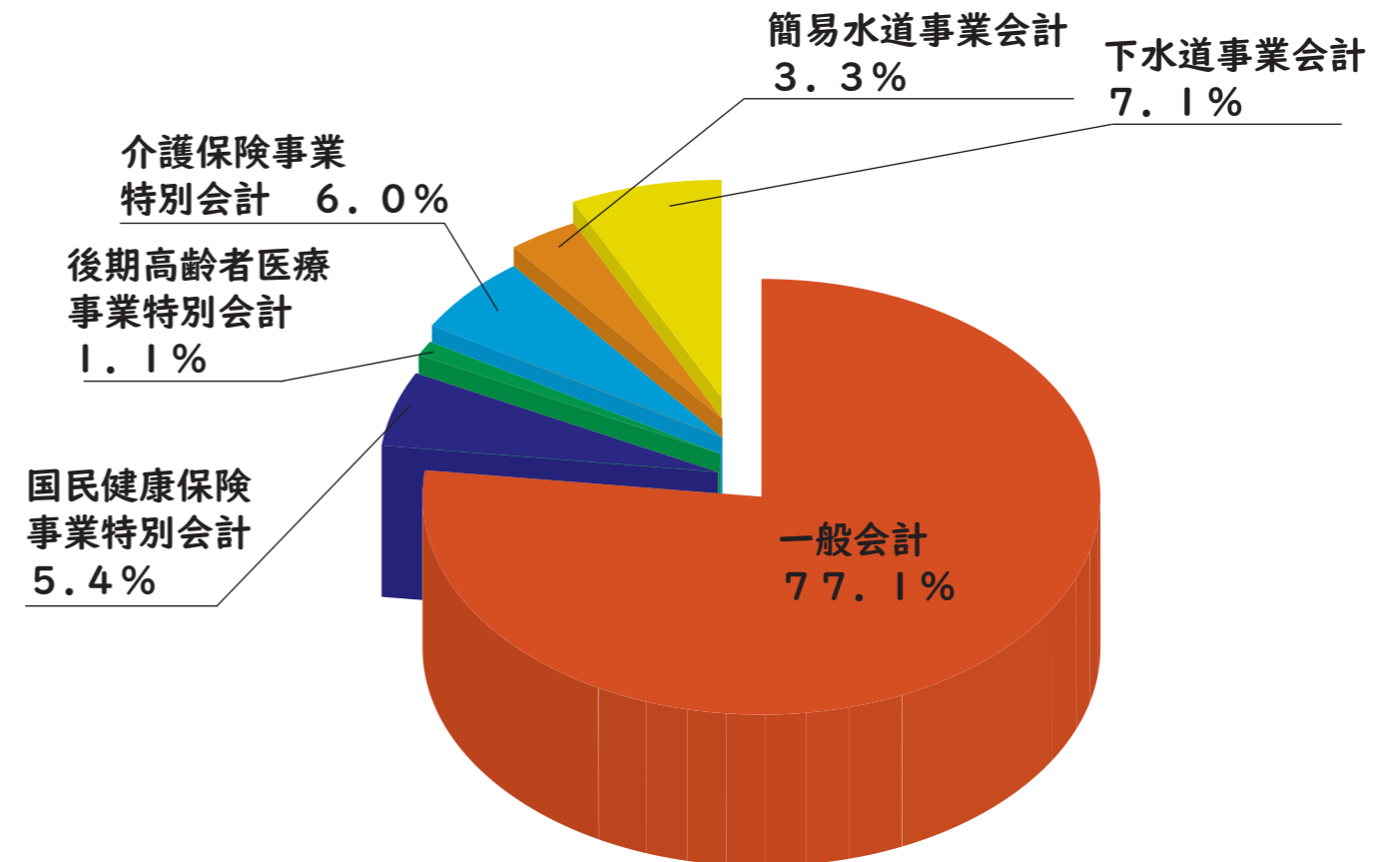
防災危機管理室

開催年月日	講座名	内容	対象者	会場	参加人数
令和7年 8月31日	共和第4自治会 防災研修会	防災講話、避難所設営訓練	共和第4自治会	生きがいセンター	18人
令和7年 9月1日	活潑老人クラブ 防災講座	防災講話	活潑老人クラブ	活潑寿の家	36人
令和7年 10月17日	津別高校 1日防災学校	防災講話、避難所設営訓練、 避難所運営訓練	津別高校 1～3年生	津別高校	54人
令和7年 11月18日	津別中学校 防災学習	防災講話	津別中学校 3年生	津別中学校	32人
令和7年 11月27日	津別小学校 社会科「自然災害 に対する備え」	防災講話、避難所設営訓練	津別小学校 4年生	津別小学校	16人
令和7年 12月2日	津別中学校 防災学習	避難所運営訓練（実動訓練）	津別中学校 3年生	津別中学校	32人
令和8年 1月18日	緑町第2自治会 防災学習会	防災講話、避難所設営訓練	緑町第2自治会	西町寿の家	18人
令和8年 2月10日	津別中学校 防災学習	避難所運営訓練（図上訓練）	津別中学校 3年生	津別中学校	32人

4 資料

各会計別の当初予算総括表

会計区分	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減額	増減率	
一般会計	84億8,900万円	92億9,700万円	△8億800万円	△8.7%	
特別会計	国民健康 保険事業	5億9,670万円	6億2,640万円	△2,970万円	△4.7%
	後期高齢者 医療事業	1億2,600万円	1億1,070万円	1,530万円	13.8%
	介護保険事業	6億6,410万円	6億6,130万円	280万円	0.4%
企業会計	簡易水道事業	3億6,600万円	5億6,320万円	△1億9,720万円	△35.0%
	下水道事業	7億7,060万円	6億4,920万円	1億2,140万円	18.7%
計	110億1,240万円	119億780万円	△8億9,540万円	△7.5%	



各種団体等に対する補助金・交付金

津別町から支出が予定されている各種団体や個人への補助金交付金は、令和8年度については18億2,318万2千円となっております。

補助金・交付金の主な内訳は、次のとおりになります。

【まちづくり】

団体名・事業名	令和8年度	令和7年度	前年度比較	
東京つべつ会運営費	24万0千円	24万0千円	0千円	
人づくり・まちづくり活動支援事業	220万0千円	320万0千円	△100万0千円	
地域おこし協力隊起業支援	200万0千円	100万0千円	100万0千円	
地域おこし協力隊住環境整備事業	100万0千円	100万0千円	0千円	
空家等撤去促進事業	750万0千円	750万0千円	0千円	
空家活用促進事業	100万0千円	100万0千円	0千円	
奨学金返還支援事業	254万9千円	307万0千円	△53万0千円	
町外学校等バス通学定期券購入費助成事業	275万2千円	0千円	275万2千円	
町民入浴優待	525万8千円	402万2千円	123万6千円	
ふるさと定住促進事業	2,150万0千円	2,170万0千円	△20万0千円	
まちづくりセンター運営協議会	120万0千円	120万0千円	0千円	
タクシー利用助成	324万1千円	358万3千円	△34万2千円	
一般コミュニティ助成事業	194万9千円	210万0千円	△15万1千円	
不在者投票事務取扱交付金（町長選挙）	12万4千円	0千円	12万4千円	
花のまち推進事業	35万0千円	35万0千円	0千円	
自治会連合会	92万7千円	92万7千円	0千円	
各自治会	運営費	397万0千円	401万5千円	△4万5千円
	集会施設維持管理費	194万9千円	204万3千円	△9万4千円
津別町暴力追放推進協議会	3万3千円	3万3千円	0千円	
津別町防犯協会	58万0千円	58万0千円	0千円	
津別町交通安全協会	15万0千円	15万0千円	0千円	
津別町スポーツ合宿実行委員会	480万0千円	400万0千円	80万0千円	

【商工労働環境】

団体名・事業名	令和8年度	令和7年度	前年度比較	
つべつふるさとまつり実行委員会	90万0千円	90万0千円	0千円	
地域特産品販路拡大支援事業	121万5千円	121万5千円	0千円	
津別町商工会（運営費）	952万6千円	952万6千円	0千円	
起業等振興促進補助	4,410万1千円	5,299万9千円	△889万8千円	
中小企業特融利子補給	246万2千円	218万7千円	27万5千円	
小規模事業者若者促進事業	194万0千円	194万0千円	0千円	
大型車両等運転免許取得費用助成事業	60万0千円	60万0千円	0千円	
新型コロナウイルス対策融資利子補給	1万3千円	3万3千円	△2万0千円	
北海道UIJターン新規就農・移住支援事業	100万0千円	100万0千円	0千円	
津別観光協会	運営費	1,658万2千円	1,645万7千円	12万5千円
	事業費	756万8千円	735万5千円	21万3千円

【農業】

団体名・事業名	令和8年度	令和7年度	前年度比較
農業経営基盤強化資金利子補給	4万1千円	4万9千円	△8千円
農業新規参入者対策事業	58万2千円	830万2千円	△772万0千円
農業生産法人経営推進事業	565万9千円	0千円	565万9千円
有害鳥獣駆除事業	751万0千円	716万0千円	35万0千円
環境保全型農業直接支払交付金事業	138万8千円	120万8千円	18万0千円
経営所得安定対策直接支払推進事業	50万0千円	50万0千円	0千円
農業次世代人材投資事業	150万0千円	225万0千円	△75万0千円
小規模土地改良事業	100万0千円	100万0千円	0千円
多面的機能支払交付金	6,232万0千円	6,350万0千円	△118万0千円
大家畜経営活性化資金利子補給	0千円	4千円	△4千円
大家畜特別支援資金利子補給	8千円	9千円	△1千円
畜産経営維持緊急支援資金利子補給	7万3千円	8万2千円	△9千円
家畜自衛防疫対策事業	10万0千円	10万0千円	0千円
酪農ヘルパー事業	40万0千円	40万0千円	0千円

【林業】

団体名・事業名	令和8年度	令和7年度	前年度比較	
愛林のまち緑資源を守る推進事業	623万1千円	1,053万6千円	△430万5千円	
津別地区林業協同組合	林協運営費	165万0千円	165万0千円	0千円
	林協利子補給	379万0千円	373万9千円	5万1千円
北海道猟友会津別支部	49万5千円	30万5千円	19万0千円	
森林管理認証取得支援事業	27万5千円	55万0千円	△27万5千円	
木質ペレットストーブ導入支援事業	50万0千円	50万0千円	0千円	
太陽光発電システム支援事業	24万0千円	24万0千円	0千円	
地域森林バイオマス活用推進事業	332万6千円	332万6千円	0千円	
木質ペレット製造販売持続化支援事業	326万6千円	196万1千円	130万5千円	
林業従事者就業支援事業	542万0千円	556万0千円	△14万0千円	
林業労働安全衛生推進事業	486万7千円	443万0千円	43万7千円	
愛林のまち私有林整備事業	2,961万4千円	2,318万9千円	642万5千円	
豊かな森づくり推進事業	903万8千円	1,031万6千円	△127万8千円	

【環境】

団体名・事業名	令和8年度	令和7年度	前年度比較
津別町環境衛生推進協議会	20万0千円	20万0千円	0千円
一般家庭飲用水水質検査事業	15万8千円	15万8千円	0千円
水道未給水地区整備事業	260万0千円	360万0千円	△100万0千円

【保健福祉】

団体名・事業名	令和8年度	令和7年度	前年度比較	
移送サービス事業	112万8千円	100万7千円	12万1千円	
成年後見制度利用支援事業	24万0千円	24万0千円	0千円	
津別町民生委員児童委員協議会	201万9千円	217万7千円	△15万8千円	
津別町ひまわりの会	1万0千円	1万0千円	0千円	
津別町社会福祉協議会	2,718万0千円	1,642万9千円	1,075万1千円	
津別町老人クラブ連合会・単体老人クラブ	72万3千円	72万2千円	1千円	
住宅型有料老人ホームの家賃等助成事業	15万2千円	15万2千円	0千円	
津別町人材活用センター	345万6千円	350万2千円	△4万6千円	
介護保険施設従事者就業支援等事業	200万0千円	160万0千円	40万0千円	
津別福祉会	2,221万9千円	346万2千円	1,875万7千円	
高齢者福祉施設整備支援事業	11億7,131万4千円	0千円	11億7,131万4千円	
認定こども園	給食費	336万6千円	357万9千円	△21万3千円
	運営費	1,826万2千円	1,780万3千円	45万9千円
	設備修繕	120万1千円	0千円	120万1千円
丸玉木材(株)津別病院	地域医療維持	2億3,800万0千円	2億3,800万0千円	0千円
	救急医療分	200万0千円	200万0千円	0千円

【教育】

団体名・事業名	令和8年度	令和7年度	前年度比較	
就学支援	1,738万8千円	1,217万6千円	521万2千円	
津別高等学校振興対策協議会	350万0千円	350万0千円	0千円	
交通安全用ヘルメット	小学校分	1万3千円	1万3千円	0千円
	中学校分	5万0千円	2万8千円	2万2千円
遠距離通学費	小学校分	7万0千円	7万0千円	0千円
	中学校分	4万0千円	4万0千円	0千円
特別支援教育就学奨励補助	小学校分	56万1千円	115万2千円	△59万1千円
	中学校分	78万0千円	90万9千円	△12万9千円
連合PTA	20万0千円	20万0千円	0千円	
ちびっこクラブ	0千円	6万0千円	△6万0千円	
津別町文化協会	70万0千円	70万0千円	0千円	
津別町郷土芸能山鳴太鼓保存会	9万0千円	9万0千円	0千円	
温水プール利用助成事業	0千円	5千円	△5千円	
津別町文化・スポーツ競技大会派遣事業	40万0千円	40万0千円	0千円	
津別町体育協会	180万0千円	180万0千円	0千円	
総合型地域スポーツクラブ事業費	39万0千円	39万0千円	0千円	

【合計】

団体名・事業名	令和8年度	令和7年度	前年度比較
全合計 (まちづくり、商工労働環境、農業、林業、環境、保健福祉、教育)	18億2,318万2千円	6億2,297万4千円	12億20万8千円

各種施設等の維持管理経費

町内の施設数は70を超え、人件費などの運営費を除く維持管理に要する経費として年間約14億15万6千円が支出されています。

また、施設の利用の際に納める使用料やごみ収集などのサービスを受ける際に納める手数料を、維持管理経費に充てています。

	施設名	令和8年度	使用料・手数料から充てられる金額
		令和7年度	前年度比較
行政	役場庁舎・公用車庫・旧議会議事堂	3,920万3千円	
		3,756万9千円	163万4千円
	町有建物	1,509万8千円	
		727万4千円	782万4千円
	バス保管庫庫(豊永)	130万3千円	
		132万7千円	△2万4千円
	公共交通(まちバス)※人件費含む	4,187万2千円	
		4,518万0千円	△330万8千円
	公用車	347万9千円	
		447万7千円	△99万8千円
地域・自治会	共和集会施設(生きがいセンター)	90万6千円	
		99万7千円	△9万1千円
	集会施設(26施設)	298万0千円	
		344万9千円	△46万9千円
	老人クラブ施設(10施設)	393万6千円	
		521万4千円	△127万8千円
	地域振興センター(商工会館)	92万6千円	
		83万8千円	4千円
	児童遊園地(7カ所)	44万0千円	
		61万2千円	△17万2千円
相生アートコミュニティ施設	26万3千円		
	83万9千円	△57万6千円	
大通・幸町地区コミュニティ施設	2,092万4千円		
	2,092万6千円	△2千円	
保健福祉	福祉寮 ※人件費・運営費含む	2,434万6千円	298万3千円
		2,239万4千円	195万8千円
福祉バス	369万2千円		
	274万5千円	94万7千円	
環境衛生	共同墓地(9カ所)	111万4千円	47万1千円
		113万5千円	△2万1千円
	公衆浴場	1,540万9千円	259万4千円
		1,312万6千円	228万3千円
	一般廃棄物最終処分場	8,044万4千円	61万3千円
		7,055万2千円	989万2千円
	リサイクルセンター	1,654万6千円	
		1,517万3千円	137万3千円
	し尿処理施設	2,580万2千円	1,260万1千円
		2,311万3千円	268万9千円
下水処理場(管渠管理含む)	1億3,557万8千円	5,588万8千円	
	1億2,733万3千円	824万5千円	
個別排水管理	2,815万9千円	1,056万0千円	
	2,715万9千円	100万0千円	
簡易水道施設(5カ所)※(人件費含む)	7,645万4千円	7,645万4千円	
	8,390万3千円	△744万9千円	

	施設名	令和8年度	使用料・手数料から充てられる金額
		令和7年度	前年度比較
道 路 ・ 河 川	道路維持管理(道路照明灯、防犯灯を含む)	2億6,274万9千円	116万7千円
		2億7,324万2千円	△1,049万3千円
	道路除排雪	623万0千円	
		623万0千円	0千円
	建設機械管理	1,599万8千円	
		2,370万7千円	△770万9千円
	道路維持作業車	153万2千円	
		176万3千円	△23万1千円
	除雪センター(豊永・緑町)	75万3千円	
		68万7千円	6万6千円
	林道	505万1千円	
		354万4千円	150万7千円
交通安全施設	0千円		
	14万4千円	△14万4千円	
河川維持管理	356万0千円	2万3千円	
	350万0千円	6万0千円	
住 宅	町営住宅、特賃住宅	1億2,593万5千円	3,215万0千円
		7,710万3千円	4,883万2千円
農 業	町営牧場(達美、相生)	143万7千円	
		139万6千円	4万1千円
農 業	用水路	547万6千円	16万9千円
		521万3千円	26万3千円
観 光 ・ 公 園	森の健康館(ランプの宿森つべつ)	6万1千円	
		5万6千円	5千円
	津別峠展望施設	4,758万3千円	
		4,499万1千円	259万2千円
	道の駅「あいおい」・鉄道公園	971万1千円	66万5千円
		861万9千円	109万2千円
	木材工芸館・体験工房	1,169万3千円	
		1,250万2千円	△80万9千円
	レストハウス	1,347万8千円	36万0千円
		1,457万3千円	△109万5千円
	河岸公園	26万4千円	
		25万2千円	1万2千円
	自然運動公園	584万0千円	
		539万8千円	44万2千円
	上里森林公園	765万1千円	
		756万0千円	9万1千円
	農村公園	211万5千円	
		214万4千円	△2万9千円
	町民の森自然公園	29万2千円	
		34万0千円	△4万8千円
チミケップキャンプ場	646万7千円		
	602万8千円	43万9千円	
21世紀の森・キャンプ場	197万7千円		
	176万7千円	21万0千円	
多目的活動センター(さんさん館)	962万1千円		
	1,075万2千円	△113万1千円	
体験交流施設	1,082万0千円	17万4千円	
	1,051万8千円	30万2千円	
ネイチャーセンター	308万4千円		
	379万4千円	△71万0千円	
		142万9千円	
		141万8千円	1万1千円

	施設名	令和8年度	使用料・手数料から充てられる金額
		令和7年度	前年度比較
社 会 教 育	中央公民館	4,008万6千円	25万9千円
		3,787万5千円	221万1千円
	町民会館	1,325万2千円	57万6千円
		1,375万7千円	△50万5千円
	図書館	1,934万4千円	
		2,210万9千円	△276万5千円
	児童館	329万7千円	
		658万4千円	△328万7千円
	食品加工センター	127万0千円	4万6千円
		187万3千円	△60万3千円
	多目的運動公園(パークゴルフ場)	6,026万3千円	141万4千円
		5,553万9千円	472万4千円
	温水プール	2,862万2千円	36万9千円
		2,868万9千円	△6万7千円
	町民テニスコート	110万0千円	1万3千円
		107万7千円	2万3千円
	運動広場(野球場)	397万5千円	11万0千円
		329万2千円	68万3千円
	屋内ゲートボール場	162万0千円	9万1千円
		153万3千円	8万7千円
本岐地区多目的公園	85万4千円		
	82万5千円	2万9千円	
修武館	74万4千円	2万2千円	
	103万1千円	△28万7千円	
スケートリンク	237万6千円		
	228万4千円	9万2千円	
ファミリースキー場	267万2千円	6千円	
	249万5千円	17万7千円	
グレステンスキー場	180万4千円		
	108万4千円	72万0千円	
農業者トレーニングセンター	1,560万8千円	108万1千円	
	1,558万7千円	2万1千円	
スポーツ交流館	53万0千円	3万0千円	
	57万0千円	△4万0千円	
本岐体育館	232万3千円	6千円	
	220万8千円	11万5千円	
学 校 教 育	小学校(1校)	3,417万8千円	2万7千円
		3,184万4千円	233万4千円
	中学校(1校)	2,537万8千円	2万7千円
		2,852万3千円	△278万5千円
	スクールバス	3,909万9千円	
	(小学校、中学校、北見支援学校)	4,384万7千円	△474万8千円
給食センター	171万4千円		
		85万0千円	86万4千円

合 計	令和8年度	町民1人あたりの管理経費
	令和7年度	前年度比較
※町民1人あたりの管理経費は、令和8年2月末の住民基本台帳人口3,871人で割ったものです。	14億15万6千円	36万2千円
	13億4,605万2千円	5,410万4千円

町の貯金と借金

基金の残高

「基金」とは、特定の目的のために資金を積み立て、または運用するために設けられる資金、財産のことで、家計における預貯金のことをいいます。

基金名	令和8年度末残高見込	令和7年度末残高見込	前年度対比増減額	
積立基金	財政調整基金	4億17万6千円	8億7,259万7千円	△4億7,242万1千円
	減債基金	3億4,700万0千円	3億3,013万6千円	1,686万4千円
	公共施設等整備基金	3億4,260万6千円	4億6,868万6千円	△1億2,608万0千円
	地域振興基金	5億5,003万6千円	8億3,602万5千円	△2億8,598万9千円
	社会保障事業基金	3,120万5千円	2,811万8千円	308万7千円
	ふるさとつべつ応援基金	1億9,982万3千円	2億495万8千円	△513万5千円
	丸玉木材森づくり基金	2,687万4千円	2,803万1千円	△115万7千円
	津別21世紀の森基金	5,763万7千円	5,747万8千円	15万9千円
	公共交通確保対策事業基金	2億2,508万7千円	2億3,708万1千円	△1,199万4千円
	森林環境譲与税基金	309万2千円	1,148万5千円	△839万3千円
	病院施設整備基金	6億3,363万4千円	6億222万2千円	3,141万2千円
	小計	28億1,717万0千円	36億7,681万7千円	△8億5,964万7千円
運用基金	奨学基金	3,944万4千円	3,944万4千円	0千円
	用品等調達基金	120万0千円	120万0千円	0千円
	林産工業振興基金	4,000万0千円	4,000万0千円	0千円
	中小企業振興基金	2,000万0千円	2,000万0千円	0千円
	土地開発基金	5,116万1千円	5,103万3千円	12万8千円
	農業振興基金	6,000万0千円	6,000万0千円	0千円
	ふるさと水と土保全基金	1,000万0千円	1,000万0千円	0千円
小計	2億2,180万5千円	2億2,167万7千円	12万8千円	
国民健康保険基金	7,019万7千円	7,272万5千円	△252万8千円	
介護給付費準備基金	2,234万3千円	3,480万9千円	△1,246万6千円	
合計	31億3,151万5千円	40億602万8千円	△8億7,451万3千円	

地方債の残高

町が施設の建設や道路の整備などを行う際に、銀行などからお金を借りる制度を「地方債制度」といいます。また、この制度を活用してお金を借りることを「起債」といい、予算上の地方債の元利償還金と一時借入金利子の合算額を「公債費」といいます。

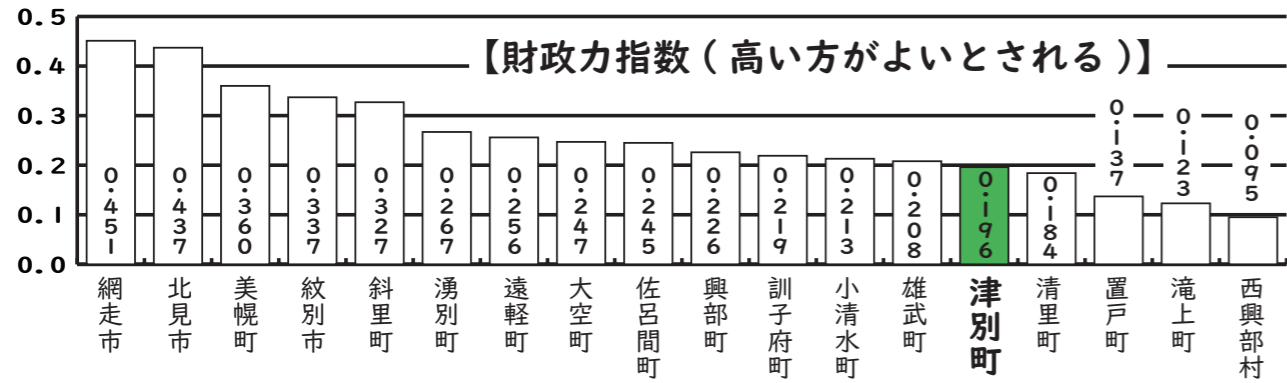
会計名	令和7年度末残高見込	令和8年度償還見込額	
		元金	利子
一般会計	114億1,475万5千円	8億6,130万4千円	7,524万5千円
簡易水道事業会計	15億9,930万8千円	4,334万0千円	1,840万0千円
下水道事業会計	10億5,992万6千円	8,699万7千円	1,043万3千円
合計	140億7,398万9千円	9億9,164万1千円	1億407万8千円

【用語解説】

基金名	解説
財政調整基金	財源に余裕がある場合は積み立てておき、大幅な収入減少や支出の増加などで財源が不足したときのために使われます。
減債基金	町債（地方債）の償還のために使われます。
公共施設等整備基金	公共施設・設備の整備のために使われます。
地域振興基金	地域振興のために自ら考え自ら実践する事業のために使われます。
ふるさとつべつ応援基金	ふるさと納税を原資としてふるさとつべつの個性あるまちづくりのために使われます。
公共交通確保対策事業基金	公共交通（まちバス）の管理、運営を行うために使われます。
社会保障事業基金	社会福祉（生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害者福祉等）、社会保険（国民健康保険、介護保険、年金等）、保健衛生（医療・感染症その他の疾病、健康増進対策等）、その他少子化に対処するための施策を行うために使われます。
丸玉木材森づくり基金	愛林のまちつべつの緑資源を守るために使われます。
津別21世紀の森基金	津別21世紀の森の運営及び管理に使われます。
土地開発基金	公用・公共用の土地、公共の利益のために必要な土地を取得するために使われます。
森林環境譲与税基金	森林の整備およびその促進のために使われます。
病院施設整備基金	町内の病院施設の整備のために使われます。
奨学基金	奨学金事業を行うための融資資金として使われます。
用品等調達基金	用品を取得、管理をするために使われます。
林産工業振興基金	林産工業の振興を図るための融資資金として使われます。
中小企業振興基金	中小企業の振興を図るための融資資金として使われます。
農業振興基金	農業の振興を図るための融資資金として使われます。
ふるさと水と土保全基金	土地改良施設の機能を適正に発揮させるために、集落共同活動の強化を図るための調査、研究並びに研修に関する支援事業を行うために使われます。
国民健康保険基金	国民健康保険事業の運営を円滑にするために使われます。
介護給付費準備基金	介護保険事業の介護給付及び財政運営を円滑にするために使われます。

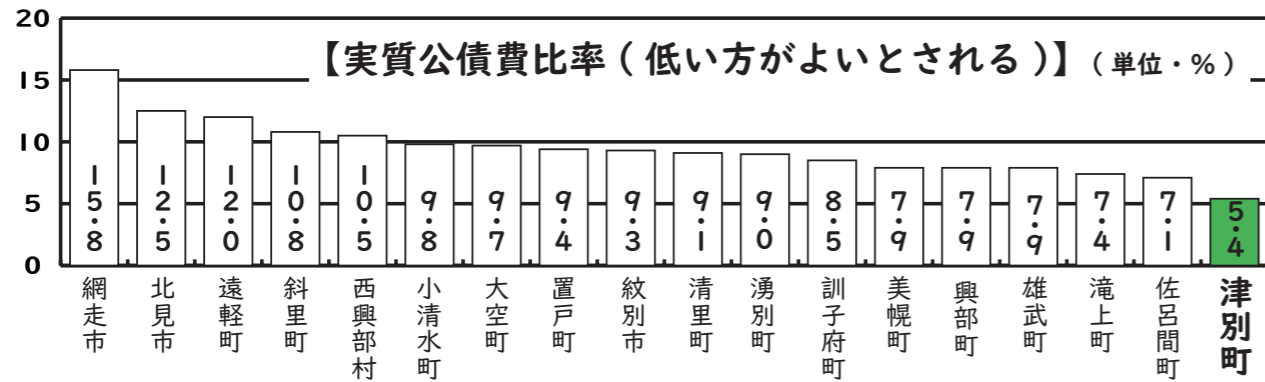
オホーツク管内市町村との比較

オホーツク総合振興局管内の18市町村の主要指標を、グラフで比較しました。
この指標は、「令和6年度決算統計」によるものです。



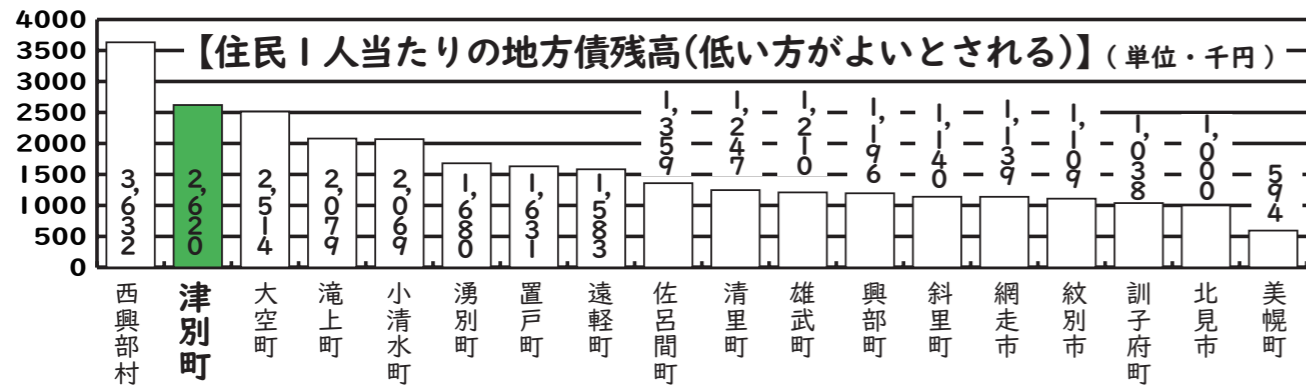
財政力指数とは、地方交付税を算定する上で人口10万人の架空の市を想定し、その市が必要とする収入（基準財政収入額）と支出（基準財政需要額）が同額、つまり「1」であれば均衡が取れている状態であり、「1」より少ないほど自主財源が乏しく、その分交付税に頼ることになります。

財政力指数は、3年間の平均値で表されますが、津別町は管内では18市町村中14番目（前年度18市町村中13番目）となっています。



地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

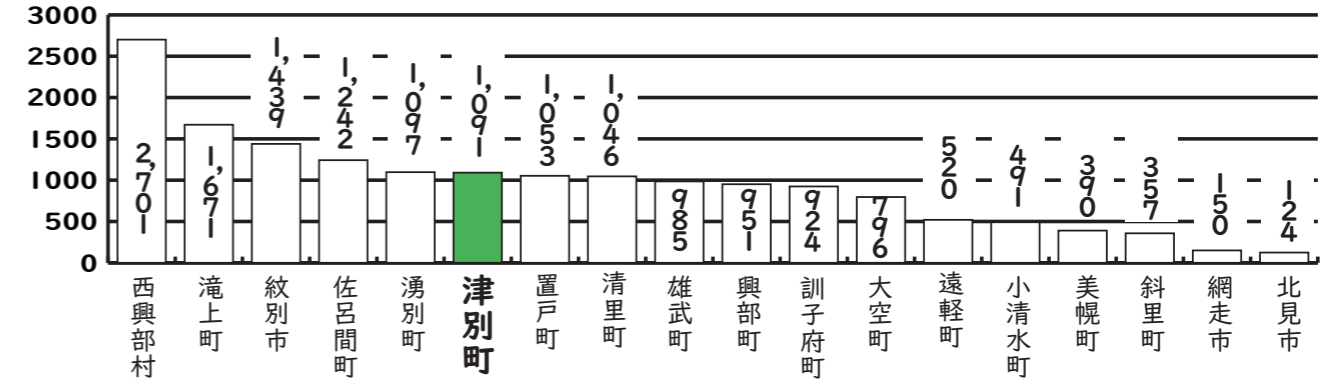
津別町は管内では18市町村中の18番目（前年度18市町村中18番目）です。実質公債費比率が18.0%以上となった市町村は、引き続き地方債の発行に都道府県の許可が必要とされています。



人口1人当たりの地方債の残高については、津別町は管内では18市町村中2番目（前年度は18市町村中3番目）です。

※低い方がよいとされていますが、交付税で措置されるものが含まれているため、単純に比較はできないものです。

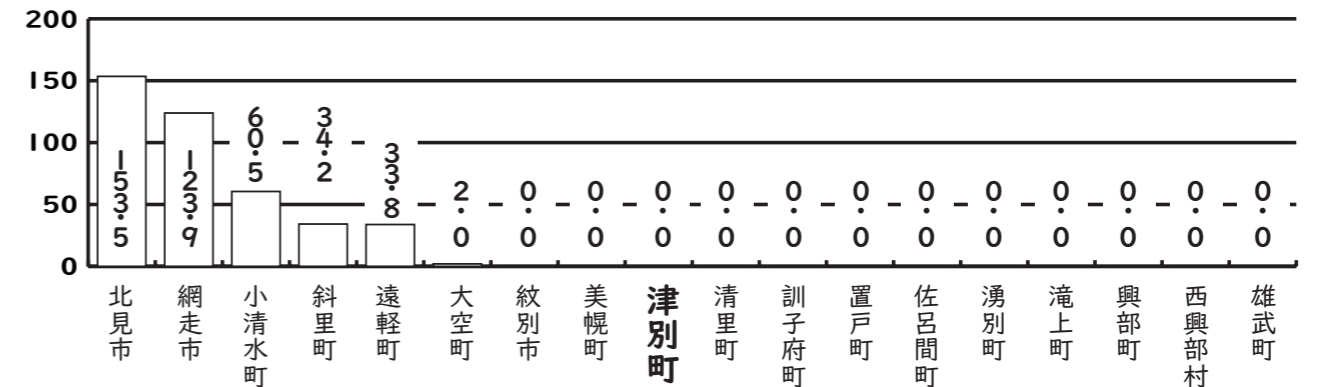
【住民1人当たりの基金残高（高い方がよいとされる）】（単位・千円）



基金（財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金※）の人口1人当たりの残高です。

※その他特定目的基金…本町の場合は、公共施設等整備基金、地域振興基金、公共交通対策基金等
津別町は管内で18市町村中6番目（前年度は18市町村中5番目）です。

【将来負担比率（低いほうがよいとされる）】（単位・%）



将来負担比率は、収入に対する将来町が負担する借金などの割合です。津別町は、平成20年度以降は将来負担比率は生じていません。

【実質赤字比率】

地方公共団体の最も重要な会計である一般会計等に生じている赤字の大きさを、地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

オホーツク管内の18市町村は、実質赤字比率は生じていません。

【連結実質赤字比率】

上記の実質赤字比率の基準である一般会計等に加え、公立病院や水道などの公営企業会計を含めた、地方公共団体の全会計に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

オホーツク管内の18市町村は、実質赤字比率と同様、連結実質赤字比率は生じていません。



令和8年度津別町のしごと

発行 津別町役場

〒092-0292

北海道網走郡津別町字幸町41番地

TEL : 0152-76-2151 (代表)

FAX : 0152-76-2976

編集 津別町役場住民企画課企画係

